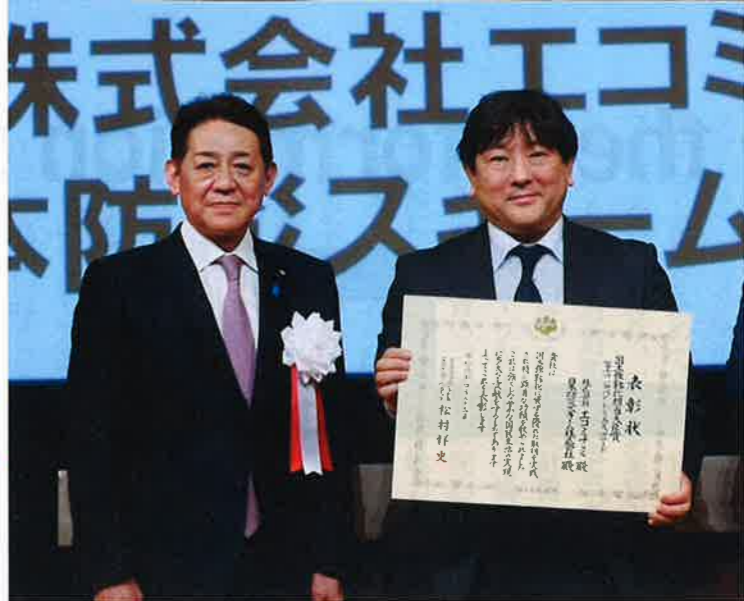


株式会社エコミナミ / 日本防災スキーム株式会社

第10回ジャパン・レジリエンス・アワード「国土強靱化担当大臣賞」受賞
「瞬断」と「tsu ita」で震災時の電気火災をシャットアウト



2024年4月「第10回ジャパン・レジリエンス・アワード国土強靱化担当大臣賞」受賞
(右が佐藤社長・左は当時の松村祥史国土強靱化担当大臣)



エコミナミ開発の感震ブレーカー「瞬断」



日本防災スキーム開発の「いつでもランプtsu ita」

本誌「エコノミスト」は、1923年4月の創刊。その5ヵ月後の9月1日、関東大震災は発災した。以来の101年間だけでも、幾度ももの巨大地震に見舞われてきた日本国土は、い

わば地震大国である。政府は2011年3月11日の東日本大震災発災を契機に、2013年には「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を制定。翌14年から「国土強靱化基本計画」を始動している。

ところが、それにもかかわらず感震ブレーカーの普及は思うように進んでいないのが実情。その要因には夜間の地震で通電を遮断した時、照明も消えてしまい、逆にリスクが高まる」との意見も多いほか、一般生活者にとつて地震後の火災は二次的なもので、直感的には避難行動や防災備蓄のような「自分事」としては捉えにくいという側面もあるようだ。

今年1月1日の令和6年能登半島地震の折の輪島市・朝市通りの大火災も消火活動が間に合わず、1箇所のみ火元から瞬く間に広がり、200棟以上に延焼したものだという。一人ひとりが「自分事」として捉え、1件でも多くの火災の発生を防ぐことと、大規模な延焼は防げるのだ。



停電してもこの明るさを保つ「tsu ita」

「感震ブレーカー」とセットで「停電しても消えない電球」を

1987年6月の設立以来37年にわたり、太陽熱温水器の設置事業から遠赤外線温水式床暖房「ゆかたんパオ」や風の吹かない次世代エアコン「ラジアン」など、健康・環境・省エネ対応の住宅設備機器を世に送り出してきたエコミナミ。2013年9月より義父の跡を継いで経営の舵を取る佐藤社長は、引き続き「新しい社会環境が求めるニーズに即応した商品開発へのチャレンジ」をテーマに事業を展開してきた。

最初に取り組んだ課題が防災、中でも感震ブレーカーの開発だった。当時佐藤社長は、阪神・淡路大震災の最中に、消火活動に奔走した消防士と出会ったそうだ。そして、その消防士はこう語ったという。

「次々と起こる火災現場に駆け付けられるために、瓦礫の下で助けを求める声が聞こえても消火を優先し、泣く泣く置き去りにせざるを得なかった。

非日常に備えた普段からの防災「フェーズフリー」

両社の代表を務める佐藤社長は、2社の目指す方向性について語る。「東日本大震災以来、『安心・安全な暮らしを守りたい』との使命感を抱き、防災商品の開発を進めてきました。『瞬断』と『tsu ita』のより一層の普及で、『通電火災』の抑止に微力なりとも貢献して行きたい。併せて、日常と非日常を分けるのではなく、普段の生活をより豊かにすると共に、有事にも対応できる『フェーズフリー』の発想による商品開発を、今後も進めて行きたい」



両社の代表を務める代表取締役社長 佐藤 央(おう)

■株式会社エコミナミ
本社 東京都稲城市東長沼349-1
TEL 042-1378-5222
設立 1987年6月1日
資本金 1億円(資本金性ローン含む)
事業内容 健康・環境・省エネ・安全配慮の製品の開発・製造・販売等
https://ecominami.jp
■日本防災スキーム株式会社
本社 東京都稲城市東長沼568-11
HPビル2F
設立 2022年6月1日
資本金 300万円
事業内容 II 防災に配慮した製品の開発・製造・販売・講演・啓蒙活動等
https://nss.co.jp



「瞬断」はコンセントに差し込んで、アース線を接続するだけで設置完了



大規模停電でも「tsu ita」を設置した家だけ明かりを灯す

人を助けるために消防士になったのに、助けられなかった思いは生涯忘れられないことが出来ない」というのだ。そこで、感震ブレーカーの開発・普及に使命感を得た佐藤社長は「瞬断」のコンセントを着想。震度5以上の地震を感知すると、振り子の原理で瞬時にブレーカーを遮断するもので、アース付きのコンセントに差し込み、アース線を接続するだけで設置が完了する、設置工事・メンテナンス不要の簡易タイプだ。

このコンセントによる「瞬断」は完成直前まで漕ぎ着けたが、先に述べた感震ブレーカーの普及を妨げる課題に直面する。それならばと、「停電したら暗闇も仕方がない」という常識を覆す「停電しても消えない電球」を作ろうと発想を飛ばした佐藤社長。「瞬断」に先立って、点灯中に起こった突然の停電時に内蔵バッテリーを通電させ、明かりを灯し続けるLED照明「いつでもランプtsu ita」を、試行錯誤の末2021年12月に完成させた。

その製造・販売に当たっては、社会環境が求めるニーズの中でも特に防



天井設置型「天照(あまてらす)tsu ita」



消えない直管型LED「ライトセーバーtsu ita」



手で握っても通電して点灯する「いつでもランプtsu ita」